

1 単元 明治の国づくりを進めた人々

2 指導計画（7時間完了）

- (1) 学習課題を決めて、学習の見通しをもとう・・・・・・・・・・1時間
- (2) 資料を基に課題解決につながる情報を調べよう・・・・・・・・・・4時間
- (3) 学習課題に対する自分の考えをまとめよう・・・・・・・・・・1時間
- (4) 学びを深めよう・・・・・・・・・・1時間（本時7／7）

3 本時の指導

(1) 目標

黒船来航、富国強兵政策、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れて、近代化を進めたことを理解できるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

資料を基に、江戸時代の農民や武士、町人などの身分だった人々が明治維新による社会の変化をどのように捉えていたのか調べ、ワークシートに自分の考えを適切に表現できるようにする。

(3) 準備

振り返りチャート、ワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	1 振り返りチャートを基に、学習課題を振り返る。	○ 振り返りチャートに記述したことを基に、単元全体の流れを確認させるようにする。
3分	2 パフォーマンス課題を考える。	○ 農民、武士、町人の中から自分の立場を児童に選ばせる。 ○ 3つの観点を農民、武士、町人のいずれかの立場から捉え直させることで、自分の考えを導き出すことができるようにする。
2分	3 課題に対するループリックを確認する。	○ 評価規準を提示することで、児童がどのように情報を整理し、自分の考えをまとめれば良いか考えやすくする。
25分	4 特定の立場から情報を整理して、自分の考えを記述する。	○ 情報をそのまま自分の考えとしないようにするために、社会が変化したところ（情報）と変化に対する思い（自分の考え）を明確にさせる。
7分	5 それぞれの立場ごとに、整理して考えたことを全体で共有する。	○ 自分が選択した立場以外の情報や考えを知ることができるように、立場ごとに代表で1人ずつ考えを発表させる。
5分	6 ループリックを基に、本時の学習を振り返る。	○ それぞれの学習の到達度を確認することで、次回からの学習活動における課題を明確にできるようにさせる。

**評価事項**

我が国が明治維新を機に、欧米の文化や制度を取り入れて近代化を進めたことを理解できる。 **【発言・ワークシートの記述内容】**

□… 近代化した内容や、近代化への思いを複数の観点から記述することができない児童には、観点を1つに絞って記述しても良いことを伝える。

☆… 特定の立場に限らず複数の立場で3つの観点について記述し、それぞれの立場から記述した内容を比較し共通点や相違点を見付けるように伝える。

**※斜体…情報活用能力を育成する学習活動**